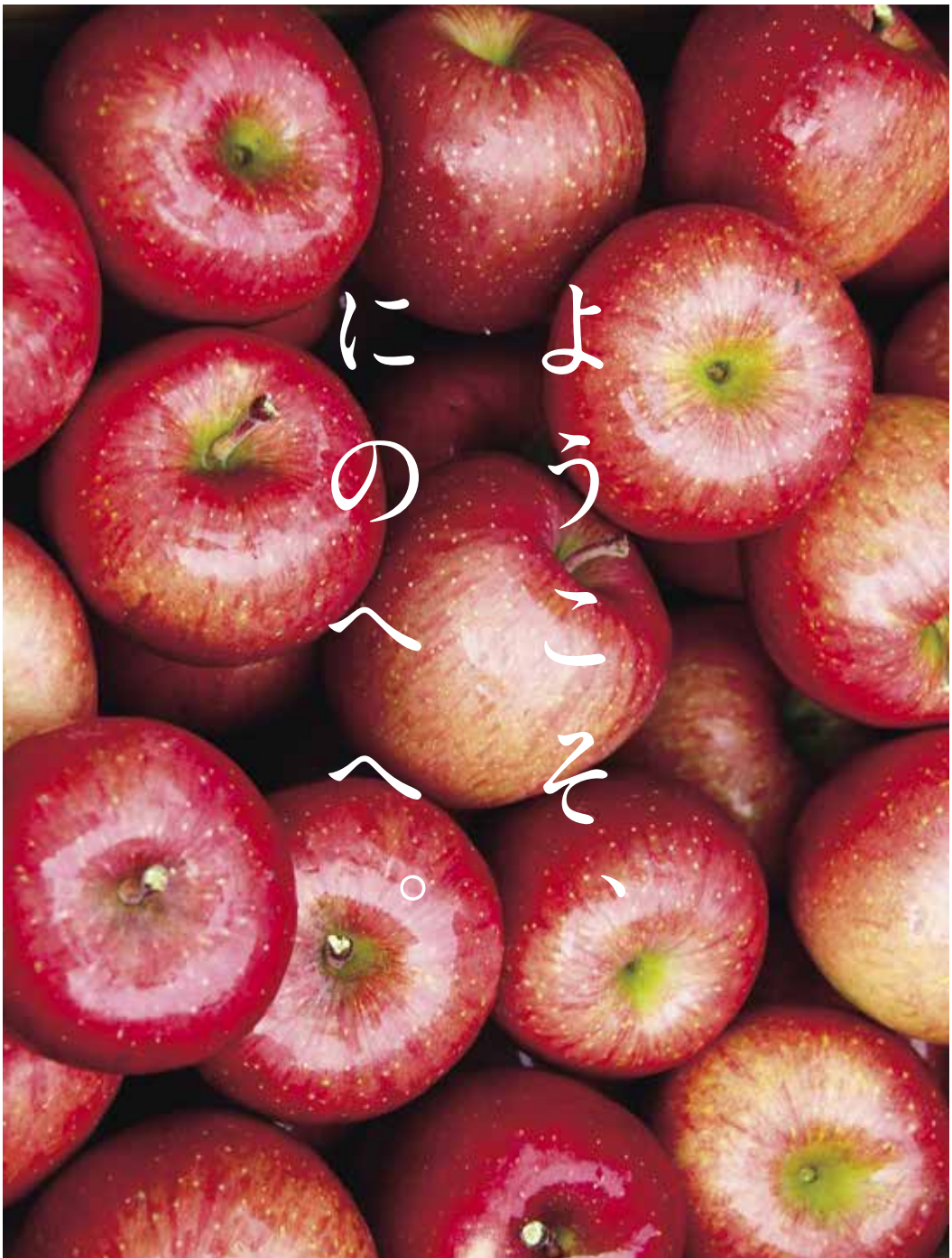


いわて県二戸からはじめる北の旅 ——— NINOHE!

にのへ!





二戸は岩手県最北にある。

北のくにはとても寒い。

雪が降る。風が吹く。

真っ白になる。

だけど寒いから、あたたかいものを大切にする。

人のこころとか、食べものとか。

小さなふきのとうを見つける春の喜び

夏の日に鼻をかすめるうるしの匂い

赤い落ち葉をカサカサ踏む秋に

すべてを包み込む白い冬。

そこにあるのは、ゆったりと流れる時間。

二戸によるこそ。

どうぞ、ごゆっくりお過ごしください。

目次 contents

うるしの里、美酒の国	03
金田一温泉で遊ぼう	09
フルーツの里のしあわせ	13
九戸城物語 続日本100名城	15
二戸かわら版	19
北のふるさとを旅しよう	21
じっちゃばっちゃんの間	27
にのへのまつり・イベントガイド	31
おみやげ型録	33
にのへMAP／宿泊案内	35
観光・産直施設	37

うるしの里、 美酒の国

二戸テロワール物語



清らかな水、空気、
そして、大地……。
それは二戸市が誇る、
厳しくも美しい環境。
ここから送り出されるのは、
人々が歴史の中で紡いできた、豊かな風物だ。



貴重な浄法寺漆だけで
塗り重ねと研磨の作業
を繰り返す。

天台寺にはじまる御山御
器が浄法寺漆のルーツ。



奥羽山脈と北上高地という二つの山並みに抱かれ、清流・馬淵川が街を流れる二戸市。ここに、世界に誇れるものがある。漆と地酒である。それは、二戸の風土と歴史から生まれたもの。そして、時代を越えて脈々と受け継がれてきたものだ。

古くから、漆とともにあった二戸地域。縄文時代の遺跡から、漆を塗った出土品が見つかるなど、関わりは長い。特産品である「浄法寺漆」につながる漆器づく

りが始まったのは、平安時代だと伝えられる。地元の人たちが「御山」と呼ぶ古刹・天台寺の僧侶たちが、日々の食事に使うため、自ら器を作ったことに由来すると言われている。

浄法寺漆は、地元産の漆を使って作る、ほかに例を見ない漆器である。現在、国内で流通する漆のうち国産漆の割合は、わずか3パーセント。そのうち約70パーセントが、二戸市浄法寺地区を中心に生産されている浄法寺漆である。今も季節が来れば、漆掻き職人たちが漆の林に入り、夜明け前から暗くなるまで、ひたすら漆を掻く。

職人が掻いた漆は、最高品質のものとして全国に出荷される。金閣寺や日光東照宮をはじめとする文化財の修復には、浄法寺漆が不可欠とされている。一方で、毎日の暮らしに登場する器のためにも使われる。地元の塗師が、国内産





麹室で麹を蒸し米に均等にまぶしていく。



タンクのなかで、コボコボと発酵が進む。酒が生き物だと伝わってくる。



明治から続く蔵元。「サザンビューティー」の名で海外展開も進めている。

南部美人



新酒の完成を告げる杉玉は、酒の熟成とともに深い茶に変化していく。



酒母に米と麹を加えていく、添掛仕込み作業。



梅雨明けから漆掻きは本番となる。1本の木から採れる漆は、わずかな牛乳瓶一本分。



地元の伝統の酒器、こぶくらを小型化したものが人気だ。

受賞銘柄に使っているのは、地元・二戸の農家チームが育てた岩手県オリジナル酒造好適米「ぎんおとめ」。水は折爪馬仙峡の清らかな

和26年(1951)に、「南部美人」という銘柄にしたのだという。県立自然公園である折爪馬仙峡からの伏流水を使い、伝統と新たな技術によって酒を醸し続けている。

世界一となったのは、平成29年(2017)のこと。「南部美人特別純米酒」が、世界的なワインの品評会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ(IWC)」SAKE部門の最高賞「チャンピオン・サケ」に選ばれたのだ。海外産を含めて390社から9部門に1245銘柄がエントリー。各部門の9つの第1位の中から、たったひとつだけ選ばれるチャンピオンなのである。



授賞式には羽織袴で登壇。

の木地に下塗りの段階から浄法寺漆を塗り重ねる。浄法寺塗は、まさにメイド・イン浄法寺だ。

そして生まれた、深い味わいを見せる漆器たち。漆の木を植え、手入れをし、大切に漆を掻く。その価値を知る塗師が、心を込めて仕上げ、それを使う人の手へ。ときには、世代を越えて手渡されることもあるだろう。縄文時代からつながってきた、漆を巡るリレー。それは、この地に住む人たちの魂をなく営みだたのかもしれない。

そんなことを思いつつ手にする浄法寺塗の片口に注ぎたいのは、世界一の称号を与えられた三戸の地酒「南部美人」である。

南部美人の創業は明治35年(1902)。南部の国の自然と風土、水の恩恵を受けて「綺麗で美しい酒を造りたい」との想いから昭



浄法寺の一点で飲める漆の実珈琲。



良質な肉はいい環境で育つ。



地元で生産される「ぎんおとめ」



馬淵川がつくる緑豊かな風景。



うまい酒をいい器で呑んでみる。いつもの時間もちょっぴり贅沢な味わいに進化する。



春夏秋冬、豊かにくりかえす二戸のテロワール。

な伏流水。そして、二戸の南部杜氏が、二戸の酒蔵で醸すという、究極の地場もの。南部美人の定番の酒で、ふわりとやさしい香りと米の旨みで、後味がすっきりとしていて幅広い料理に合うと評判だ。これが「オール二戸」でできるのも、この土地の豊かさゆえであろう。

羽織袴姿で世界一のトロワールを手にした南部美人の五代目は、この酒を「究極のテロワール」と呼ぶ。テロワールとは、ワインなどの品種における生育地の地理や地勢、気候、土壌など、その作物を取り巻く生育環境のことを指す。とすると、酒でいえば米の生育環境だ。二戸でしか作れない米で醸したのが、世界一の特別純米酒というわけだ。

テロワールといえば、酒とともに味わいたい二戸ならではの三大ミートがある。「短角牛」「折爪三元豚・佐助」、そして「若鶏」だ。春から秋は澄んだ空気いっぱいのはりやかな草原でのびのびと、冬になると牛舎で大切に育てる短角牛。脂肪分の少ない赤身肉は、噛むほどに美味しさが広がる。地元の折爪岳を望む森の中で、清らかな水とこだわりの飼料を与える佐助豚は、とろけるような旨みで、食した人

を虜にする。市町村別農業産出額で全国2位の産出額を誇る二戸の鶏肉。植物由来の餌で飼育する若鶏は、きめ細かな肉質で定評がある。いずれも酒と同様に、この地の空気と水、大地があつてこそその産物なのである。

ここでは当たり前と思われているが、外から見れば贅沢ともいえるべき風土。そのことを伝えてくれるのが、二戸の漆と酒かもしれない。そして、漆と酒が、それらを喜ぶ人たちの手に渡るためには、二戸の人々の存在が不可欠だ。良いものの後ろには、それを愛し、支える人がいる。世界のどこにいても、欲しいものが手に入る時代だからこそ、あえて訪ねて来て欲しい。二戸でなぜ、漆が受け継がれているのか。なぜ、これほど旨い酒があるのか……。

その答えは、きつと二戸の風土の中にある。

不思議な響きの温泉は、
幸運を呼ぶ座敷わらしの里だった。



「緑風荘」が火災にあったときも、残った亀磨神社。

金田一温泉で遊ぼう

亀磨くに会いたいなあ



新しくなった槐
(えんじゅ)の間。



ここは時間も
のんびりしているよ



亀磨神社の絵馬。
かわいい亀磨くんつき。

金田一温泉郷のご当地キャラ亀磨くん。出会えたら、いいことあるかも。

三浦先生
このへんに住んで
たんだった



あちこちに「ユタとふしぎな仲間たち」のキャラクター看板が点在。ここは温泉神社と旧三浦宅に続く「ダンジャ坂」。



都会でいじめられていた転校生ユタが、座敷わらしと出会い成長していく「ユタとふしぎな仲間たち」の舞台となった分敷場跡。

か

つて、「侍の湯」として南部藩士たちが傷を癒やしに来た金田一温泉

は、幸運を呼ぶ妖怪、座敷わらしに遭遇すると評判である。ここで幼少期を過ごした

芥川賞作家・三浦哲郎のファンタジー小説

「ユタとふしぎな仲間たち」には、たくさん

の座敷わらしが登場する。同作品は、劇

団四季でミュージカル作品にもなった。

温泉宿の中でも座敷わらしの宿として

名高い「緑風荘」には、亀磨という座敷

わらしが現れるという。不思議な現象の

体験談も多く、幸運を求めて宿泊客が絶

えない。亀磨を祀る亀磨神社は、金田一

温泉の名所となっている。

「金田一」という名前は、珍しい割に

日本でかなり浸透している。多くは日本

ミステリーを代表する名探偵・金田一耕

助。その孫？「金田一少年」を思い浮か

べるだろう。さらに通は、アイヌ語研究

者で石川啄木の友人金田一京助博士や、

その息子の言語学者金田一春彦・秀穂親



金田一のりんごは寒暖の差でおいしく育つ。



ブルーベリー
大きい♡

ラッキー
カモン。

幸運の鳥ツバメも
毎年金田一に巣を
つくる。



温泉のカフェでまったり。



高台にある温泉神社は、
どこかのどかな空間。

無色無臭の低張性弱アルカリ性。肌あ
たりがやわらかく、神経痛や関節痛、
疲労回復に効果的と言われている。



パリパリ
軽やかでおいしい
南部せんべい

金田一には手焼きの南部
せんべいのお店もある



たわわに実るブルーベリー。



せんべい屋さんは値書きも
シンプル。



それぞれの宿に個性があるので、
いろいろお試しあれ。



日帰り温泉施設 金田一温泉センター
「ゆうゆうゆ〜らく」



そばかな私と
どこかの宿で
会いましょう。

いてゆ餅
「岩手 北のてっぺん 金田一
温泉名物」の定番。

金田一温泉案内

Kimatachi Onsen Guide

㊦ 岩手の名湯 侍の湯
おもてなしの宿 おぼない
〒二戸市金田一字湯田 43-5
☎ 0195-27-2221

㊦ きたくに旅館
〒二戸市金田一字大沼 24-20
☎ 0195-27-2531

㊦ 金田一温泉センターゆうゆうゆ〜らく
〒二戸市金田一字湯田 41
☎ 0195-27-3400

㊦ スパドーム
〒二戸市金田一字湯田 53
☎ 0195-27-2511

㊦ 仙養館
〒二戸市金田一字大沼 24
☎ 0195-27-2231

㊦ ホテル金田一
〒二戸市金田一字大釜 25
☎ 0195-27-3111

㊦ 緑風荘
〒二戸市金田一字長川 41
☎ 0195-27-2131

㊦ 金田一温泉旅館組合
〒二戸市金田一字大沼 24-6
☎ 0195-27-2540

た金田一氏の末裔、金田一博士ら人名は「きんだいち」なのだが、温泉や地名、駅名は実は「きんたいち」なのであった。

駅の周辺はかつて栄えた奥州街道。懐かしい建物や南部せんべいのお店などが並んでいて、少し散歩するのにちょうどよい。

つかれた日常を、いろいろな温泉宿でリフレッシュ。それぞれ個性があるので、めぐってみるのもお楽しみ。おいしいフルーツの産地でもあるので、夏のブルーベリー、秋のりんご、フルーッ狩りも楽しんで、元気なからだ、元気な心、そして幸運を手に入れよう。

子を思い出す。そして今、新たに支持されるのは、青葉城西高校バレー部、ミドルブロッカーの金田一勇太郎である。少年ジャンプで連載中のバレー漫画『ハイキュー!!』の登場人物だ。作者の古館春一氏が岩手県北地域出身とあって、宮城県が舞台ながら、背景の建物がとなり町軽米町の体育館や学校に似ていたり、登場人物の名前に「花巻」「岩泉」など温泉名が潜んでいて、場所を探して行くのがファンの密かな楽しみになっている。

金田一温泉も名前つながらだけでなく、某宿の佇まいが限りなく烏野高校が宿泊する宿に似ていたり、ファンを喜ばせるサービスをしてくれるとSNSで話題となった。ファンなら、にやにやする地元ならではの展示も多いのであちこち足を伸ばしてみたい。

ところで、みなさん、文中の「金田一」をどうお読みになったろう。「きんだいち」がほとんどと思われる。当地に暮らしてい

夏も恋、冬も恋

フルーツの里の しあわせ

二戸は北国だけれど、
甘い果実が自慢のフルーツの里。



さくらんぼは、実りだけでインスタ映えるフルーツ。



夏には摘み取りも楽しませてくれるブルーベリー



黄色のやさしい色味の「はるか」から、「冬恋」は生まれる。



7月を彩る、夏恋の鮮やかな赤。

7月



一粒一粒、箱詰めされた
カシオペアブルー。

8月



12月

冬恋は12月から
出荷される。

—— 戸のフルーツはおいしい。
それは昼夜の寒暖の差に
よるものだという。日中は太陽

の暖かい日差しの中ですくすく
成長し、夜の冷たさのなかでは、
身を守るようにぎゅっと締まる。

それが甘い果実をつくる。二戸
の1日の気温差は年間を通じ10
度前後で、りんごのような寒冷
地果物を育てるには理想的なの
だ。しかも二戸の大地はミネラ

ルが豊富。なぜなら、もともと
ここが海だったから。ここにマ
ングローブが生えていたなんて、
もはや想像もできないが。土の
中から、海の化石があちこちで
出ている。さらに二戸は、春か
ら夏にかけて雨が少なく、フルー
ツにはさらに条件がいい。

7月、夏の恋が二戸にある。
二戸が誇る最高級さくらんぼ「夏
恋（かれん）」。日本の代表的品
種「佐藤錦」の中から、糖度17
度以上で大粒で色が濃いものが

選ばれる。赤い実はまさに誘惑
の色だ。

8月は、甘いけどクールな、
大粒ブルーベリー、「カシオペ
アブルー」が登場する。一粒が
500円玉サイズという大きさ
で、箱に並ぶと圧巻だ。チャン
ドラーという品種の中でも1本
の木から数個しか採れない貴重
な青い果実だ。

10月からはりんごのシーズン。
戦後、金田一から二戸のりんご
生産が本格化し、昭和30年代は、
県下一位の出荷数を誇り、栽培
面積でも全国有数の産地だった。
だからりんごにはこだわりがあ
る。紅玉や、ふじ、シナノゴー
ルド、さんさ、紅いわて、カシ
オペア・クイーンサンふじほか、
多彩な品種がつくられている。

12月には、黄色いりんご「は
るか」のなかから現れるのは冬
の恋。糖度15%以上、蜜入り
2.5以上を「冬恋（ふゆこい）」、

にのへのフルーツカレンダー

7月	さくらんぼ(佐藤錦、紅秀峰など)・夏恋(かれん)
8月	ブルーベリー(チャンドラー)・カシオペアブルー
9月	ぶどう(エーデルロッソ)
10月	りんご(紅いわて)
11月	りんご(カシオペア・クイーンサンふじ)
12月	りんご(冬恋 ぶゆこい)



昼夜の寒暖差のある気候と、古代は海底だった
ミネラル豊富な土壌がおいしさの秘密。

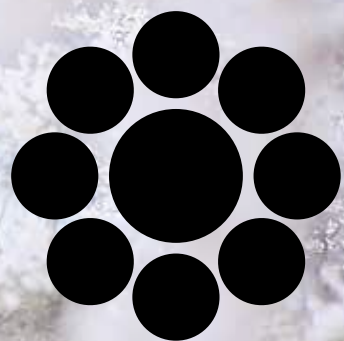
糖度16%以上、蜜入り3.0以
上を「プレミアム冬恋」として出
荷している。

ブランドフルーツは、二戸駅
と隣接するなにやーと物産セ
ンターから注文できる(↓P
33)。ちよつと糖度や色味がかな
わなかったものは、産直に並ぶ
ので、そちらも狙い目だ。ブラ
ンドとは違うが、おいしさは確
かだ。また7月下旬にはブルー
ベリー体験農園がオープンする。
りんご狩りも、リクエストがあ
れば観光協会が紹介してくれる。
イベント限定だが、さくらんぼ
狩りのツアーも開催されている。
おいしい体験で、記憶に残る旅
を楽しんでほしい。



九戸城

物語



続日本
100名城

九戸城がもっとも美しいのは春。本丸の一部には東北最古の石垣が残っている。国の史跡。

権力に抗い散った、
九戸政実という武将がいる。
それは二戸に遺された、
壮大な歴史ロマンだ。

豊臣秀吉に喧嘩を売った男がいた。二戸が誇る武将・九戸政実である。天下統一に向けて、強引に奥州制圧を進める秀吉に反発し、反旗を翻した。この戦は「九戸政実の乱」と呼ばれる。攻めてきたのは、豊臣秀次を総大将に、蒲生氏郷、浅野長政、井伊直政ら、百戦錬磨の武将で編成された6万5000の兵。対する政実軍は、わずかに5000。九戸城に籠城して互角以上に戦ったが、最後は「一族郎党を救うために」と、政実が投降。だが……。

「悲劇の城」として心に刻む。国指定の史跡であり、平成29年（2017）4月には、公益財団法人日本城郭協会による「続日本100名城」に選定された。秀吉の天下統一に至る、最後の戦場となった九戸城。ここでは、4月中旬頃から11月にかけて、「九戸城ボランティアガイドの会」が活動。平成13年（2001）に発足したこの会は、城の歴史や城跡の見どころをわかりやすく教えてくれる。九戸城VRの開発も進められているので、近々、九戸城の当時を楽しめる日が来そう。また、二戸には、甲冑に身を包んで姿を現す人たちもいる。敬愛してやまない郷土の武将の存在と志を広く知らしめたい。その一念で集まった「九戸政実武将隊」という市民有志のグループだ。どちらの活動からも、郷土の歴史と先達の心を大切に伝えたいとの思い



『天を衝く―秀吉に喧嘩を売った男 九戸政実―』

講談社文庫
著者・高橋 克彦

織田信長の活躍をよそに、南部家の内紛に見切りをつけた九戸政実の新時代を築く戦いを始める。直木賞作家が故郷を舞台にした歴史巨編。

出版社：講談社
発行：2004年11月



『冬を待つ城』新潮文庫
著者・安部龍太郎

九戸城を囲む戦国武将たち。豊臣軍15万に對し迎え撃つ兵は僅か3千。戦国最大の謀略「奥州仕置き」を、直木賞作家が描く歴史長編。

出版社：新潮社
発行：2017年10月



『続日本100名城
公式ガイドブック』
監修：(公財)日本城郭協会

続日本100名城の城データを掲載した、城めぐりには欠かせない一冊。スタンバイ帳付きのB5版の公式ガイドブックです。

出版社：学研プラス
発行：2017年12月



- 1 政実の物語を伝えんとする、九戸政実武將隊の面々。二戸を中心に30人を超える隊員が所属。イベント等でパフォーマンスを披露している。
- 2 街中にある龍岩寺は相馬大作の墓で有名だが、もともとは九戸の政実側の戦死者の菩提を弔う山寺が、寺の前身と伝えられている。
- 3 吞香稲荷神社境内にある、九戸政実神社。
- 4 政実の投降も空しく、城では子どもまで殺されたという。
- 5 政実が植えた伝説が残る長興寺の大銀杏。
- 6 九戸神社(九戸村)の手前には、処刑後持ち帰った政実の首を埋めたとする首塚もある。
- 7 かつての戦場も、市民にとっては、ゆったり過ごす憩いの場所である。
- 8 九戸城エントランス広場にあるボランティアガイドハウス。九戸城の歴史を紹介している。

二戸を訪れる前に読むか。それとも、その風景に触れてから読むか。いずれを選んでも、気が付いたときには九戸城と悲運の名将・九戸政実の虜になっていることだろう。



が伝わってくる。
ほかに、政実に想いを馳せて訪ねたい、ゆかりの地がある。九戸城松ノ丸跡に社がある「吞香稲荷神社」には、政実の霊が眠る。境内には、「九戸政実神社」がある。本社は政実が処刑された最期の地となった現在の宮城県栗原市にあるのだが、九戸城二ノ丸に分霊され、さらに平成13年に移築された。
隣接する九戸村には、九戸氏を奉る「九戸神社」があり、境内には「政実神社」も。また、「長興寺」は、九戸氏代々の菩提寺として知られる。境内に、政実が出陣のときに手植えたものと伝えられる、大イチョウがそびえる。村名の由来も含めて、押さえておきたい地である。
それにしても、少ない兵力にも関わらず、政実はずばい戦いに踏み切ったのか。秀吉はどうして途方

二戸かわら版

2018.1.1

今も昔も、にのへで意外に知られていない

ディープなネタをご紹介します。

世界に1つ？兄弟オンリーバンド

2015年結成。インディーズバンドながら、テレビのバンドバトル番組で決勝進出するなど、活躍が

SATOMANSION



た。斬首で使用された刀「延寿國時」は弘前市の文化財に指定されている。

二戸市歴史民俗資料館に手紙や襲撃時の資料が残っている。一番目にとまるのは、江戸で漕っていた講武

相馬大作



日本物理学の父・田中館愛橘

東京帝国大学教授であった、日本物理学の父と称される科学者、二戸出身の田中館愛橘。相馬大作の姉の子孫である。公費でグラスゴー大学に留学し、ケルビン卿に師事した。世界から知識人を集め、その能力を世界でシェアしようとしたユネスコの前身国際連盟知的協力委員会において、キュー夫人やアインシュタインと交流

めざまし「SaToMansion」。東京在住だが、二戸生まれ二戸育ちの4兄弟バンドである。PV撮影もほぼ三戸。エキストラを募つてのPV撮影には、三戸市も全面協力し2017年の広報の表紙まで飾る。今後の動きにも注目のバンド。二戸の空気をPVで体感！

自販機？



日本最古の飲料自動販売機

二戸市歴史民俗資料館で公開している、日本の自動販売機の原点的な日本酒の自動販売機。地酒「南部美人」が所蔵していた。5銭白銅貨を入れると、ゼンマイ仕掛けで動く仕掛け。もろりを楽しむのに使われたが、きっちり計量されるため、あふれるサービス分がなく不評を買ってお蔵入りしてしまったという。未来技術遺産にもなっている。



ライダーの隠れ里

二戸では、ライダー向けの周辺の地図情報、「Pocket MAP」を提供している。実は三戸は、北海道に向かう、ライダーたちの通過点なのだ。自然があつて、信号が少なく走りやすい道路がある好条件が人気だ。そしてバイク好きが集まる「愛輪塾」が運営する「みちのく記念館」は、東北屈指のバイク関連資料が揃う、オールドバイクを展示する施設である。

ものづくり、服づくり

浄法寺塗が有名だが、二戸のものづくりは、ほかにもある。その1つが縫製。有名ブランドの洋服を生み出す工場が二戸地域を中心に集まっている。県でも力を入

「H」である。それは田中館愛橘博士が、日本式ローマ字の普及に尽力していたからだ。ちなみにパスポートなどは英語に近いヘボン式。

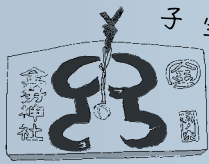
秘

神さま仏さま金勢さま

岩手には金勢さまが多い。素朴で土着的なこの信仰は、産めよ増やせよとばかりに、子宝により豊かさを象徴する。しかしあまたある金勢さま信仰で、実はかなりアクリティブなのが我が二戸駅前、枋ノ木神社の金勢さま。御輿に乗り、山車に乗り。街中を駆け巡る。近頃は外国人客も聞きつけ楽しんでる。期間限定のお弁当やらチョコバナ

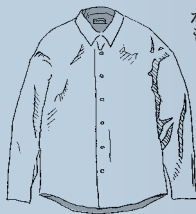
子宝

ナやらとても誌面ではお見せできないが、手ぬぐいくらいは買っ



れ、「北いわてはアパレルの聖地だ」と、北いわてで学生デザインファッションショーを開催している。あなたが着ている服も、もしかすると二戸メイドかも。

二戸メイド



二戸版忠臣蔵って知ってる？

赤穂浪士は四十七士。その討ち入りから、およそ百年後、「みちのく忠臣蔵」ひとり忠臣蔵」とよばれ江戸を賑わした男が、二戸市の先人・相馬大作(下斗米秀之進政実)。南部氏と津軽氏の確執のなか主君を悩ませる津軽公襲撃を狙った。忠義の美談として多くの人に支持され、歌舞伎や浪曲、小説に映画と描かれた。吉田松陰らも賞賛した。未遂に終わつて最後は罪人として処刑され

ていつてつそりタンスの中にでもしまつてほしい。

わたし国分シャアです。



豚サンのいる墓

五日町の祖霊社は、田中館愛橘博士をはじめ先人が眠る墓地だが、ひととき目をひくお墓がある。70代にして戦後初の民選選挙によつて岩手県知事となり、農民知事として慕われた国分謙吉氏の墓だ。なにしろお墓の前に狒犬の如く豚と羊が並んでいるのだ。英国系パークシャーに筑波山生まれの野イノシシをかけて自身が開発、生産した混血豚「国分シャー」なのである。

北のふるさとを旅しよう



北のふるさは、いつでもあなたを待っている。
青空の日も、花香の日も、雨の日も、雪の日も。
にのへと、県境にある青森県南部は旧南部領。
およそ400年にも及ぶ人々の営みが凝縮している。
豊かな時間を求め、学びと発見の旅を始めよう。

新幹線で
二戸駅に降り立てば、
そこは未知なる北のくに



四季がはつきりしている二戸。寒さに震える

季節がある北国だからこそ、春を迎える喜びは大きい。短い夏を愛おしむように過ごし、実りの秋を迎える。そうやって巡る1年を大切に積み重ね、その記憶を季節の

行事、手仕事や食文化

など、日々の暮らしに

散りばめて受け継いできた。

それは、遙かなる北

国での営みではない。新幹線

が止まる二戸は、首都圏から気軽に足を運べる場所だ。日帰りも無理ではない

が、この地を訪ねるなら、ゆったりと旅して欲しい。なぜなら二戸は、通り過ぎるだけではわからない、魅力に溢れているからだ。よそゆきではない、日常にある魅力と

いったらいいだろうか。
例えば、東北最古の古刹「八葉山天台寺」。東北の仏教文化の中心地として1000年以上の歴史を刻み、多くの人々

の信仰を集めてきた寺を、地元では畏敬と

愛着を込めて「御山」と呼ぶ。その心をなぞりながら、御山の参道を歩いてみるの面白い。そのあとは車を走らせ、寺の名を付けた地元密着の温泉へ。そんなことができるのも、二戸だからこそである。

食文化にふれるひとときも、旅の楽し

み。しかも、味わうだけでなく、自ら作る体験なら、楽しさ倍増だ。二戸は、今や世界に推奨される雑穀の産地。かつて手打ち

そばは、家庭で作り、食するものだった。ほかに、

「へつちよこだんこ」やなぎばつと」など、聞いたこともないような名前の

郷土料理との出会いも。長く食

べ継がれてきた素朴な味わい

は、人や風土を表す、

ひとつのかたちかも知れない。

二戸を拠点に、足を延ばすのもおすすめだ。

りんごの花



隣町の二戸で、縄文の空気を

胸いっぱい吸い込むことも、子どもを思い切り遊ばせることもできる。県境を越えて、青森県まで旅するの面白い。十和田市や八戸市まで、車で1時間ほどというロケーションを活かさない手はない。「二戸から、ちよつとお出かけ」という気軽さを、暮らすような気持ちで味わって欲しい。

もつと知りたい、味わいたい。地元の言葉をもつと聞きたい。季節を変えて見てみ

たい。ここで、何もしないでのもんびりしたい

……。ぐるりと旅をして、どれかひとつで

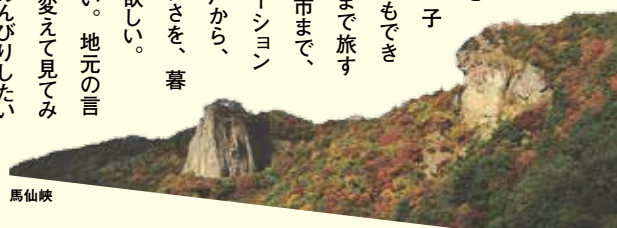
も、ほんの少しでも思ったとすれば、それは二戸が「気になる場所」になったというこ

とだ。

さあ、始めてみよう。二戸を味わう旅を。その旅が終わる頃には、ふる

さとがひとつ、増えたように思えるだろう。

馬仙峡



1.天台寺(二戸市)
 図 二戸市浄法寺町御山久保33
 図 0195-38-2500 図 車で約25分

神亀5(728)年の開山とされる天台宗の寺院。仏像や奉納されたものなど貴重な品々を収蔵していて、うち2点が国指定重要文化財、11点が岩手県指定文化財とされている。

2.二戸市立浄法寺歴史民俗資料館(二戸市)
 図 二戸市浄法寺町御山久保35
 図 0195-38-3464 図 車で約20分

漆に関わる資料が多数収蔵されていて、そのうちの3,832点が国の重要有形文化財に指定されている。北東北に生きた人々の暮らしや歴史を学ぶことができる。

3.滴生舎(二戸市)
 図 二戸市浄法寺町御山中前田23-9
 図 0195-38-2511 図 車で約20分

浄法寺漆を使った漆器や漆芸品を厳選し、展示・販売している施設。浄法寺漆の工房も兼ねているので、工程の見学や体験教室なども。

4.天台の湯(二戸市)
 図 二戸市浄法寺町野黒沢133-1
 図 0195-38-3222 図 車で約35分

稲庭岳の麓にある、憩いの場。短角牛やどぶろくなど、地元ならではの食事もできる。休憩はもちろん、宿泊も可能。写真は「漆の間」。

5.鳥越もみじ交遊舎(一戸町)
 図 一戸町鳥越字宮古沢21-1
 図 0195-32-3981 図 車で約15分

竹細工の技術を伝え、その魅力を広く伝える施設。手作り製品の展示・販売のほか、地元の人たちの作業を間近に見学できるのも魅力だ。

6.米田工房そばえ庵(二戸市)
 図 二戸市下斗米字十文字24-2
 図 0195-23-8411 図 車で約15分

岩手県が認定した「食の匠」米田カヨさんの店。地元産のそば粉を使った十割の手打ちそばや、ご当地メニューも味わえる。



3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1

2

3

4

5

6

1</

スポット案内

図の起点は二戸駅

1.御所野縄文公園（一戸町）

図 一戸町岩館字御所野2
☎ 0195-32-2652 図 車で約25分

縄文時代の大集落だった、御所野遺跡を整備して造られた史跡公園。復元された竪穴式住居、御所野縄文博物館などを見学できる。

2.岩手県立児童館 いわて子どもの森（一戸町）

図 一戸町奥中山字西田子1468-2
☎ 0195-35-3888 図 車で約50分

体験や遊びを通じて、子どもが感動や発見に出会える場所。魅力あふれる館内のほか、自然の中でも遊べる。ワークショップも充実。

3.福田繁雄デザイン館（二戸市）

図 二戸市石切所字荷渡6-2
☎ 0195-25-5411（二戸ビックセンター）
図 車で約5分

世界的グラフィックデザイナーだった福田繁雄の作品を常設展示。国内では、ゆかりの地・二戸だけ。作家の遊び心に触れてみたい。

4.田中館愛橋記念科学館（二戸市）

図 二戸市石切所字荷渡6-2
☎ 0195-25-5411（二戸ビックセンター）
図 車で約5分

日本における物理学の礎を築いた、郷土の偉人を紹介。また、子どもたちが実験や工作などを通じて科学を楽しむ学べる場でもある。

5.2door（二戸市）

図 二戸市石切所字荒瀬65-3
☎ 0195-22-2222 図 車で約3分

南部せんべいにチョコレートを含ませた、新感覚のお菓子を製造・販売。製造工程の見学ができるほか、カフェスペースなどもある。

6.四季の里（二戸市）

図 二戸市石切所字荒瀬49-1
☎ 0195-23-7148 図 車で約5分

南部せんべいの「蔵手屋」の直営店。岩手県産のそばを使った手打ちそばを提供している。昔懐かしい雰囲気的空間も人気だ。



楽校の裏手に広がる、黄色の波。
200万本超のひまわり畑は圧巻の眺め。
山の楽校 ひまわり畑（八戸市）

廃校を利用した体験交流施設。地元の人とふれ合いながら、手作り体験ができる。花の見頃は毎年8月下旬頃。



縄文人に
なりたーい！



+ ふらすプラン

市内感覚で、ちょっとお隣りへ。



岩手の冬の醍醐味。
初心者にも優しい「氷上ワカサギ釣り」。
菜魚湖ワカサギ釣り（一戸町）
図 岩手県二戸郡一戸町宇別字道白
☎ 車で約1時間15分

駐車場、トイレ、簡易食堂、釣具レンタル用品が準備されているため安心して楽しめる。



可愛いねこだらけの三戸町で、
にゃんとも素敵な時間を過ごしたい。
11匹のねこタウン（三戸町）

三戸町は「11匹きのねこ」シリーズで知られる漫画家・馬場のぼるの出身地。ねこを探して町の探検を。



100年前の田子町体験。
昔の農村生活空間にタイムスリップ。
タブコブ創造村（田子町）
図 青森県三戸郡田子町大字田子字川代ノ上66-39
☎ 0179-32-4344 図 車で約55分

手焼きせんべいなどの体験や、当時の民具を見学することにより昔の文化に触れることができる。



八戸の夏を彩る華やかな祭りは、
伝統と風情、そしてスケール満点。
八戸三社大祭（八戸市）

約300年の歴史誇る八戸エリア最大の祭り。豪華な山車の行列、神輿や虎舞などが、観客を魅了する。



自然に親しみ、昔の暮らしを知る……。子どもたちに、そんな機会を与えたいなら、二戸エリアの旅を。たっぷり遊んで欲しいから、1泊2日がおすすだ。

隣町の二戸には、縄文時代の大規模集落だった御所野遺跡があり、公園として整備されている。縄文土器作りや樹皮編み、火おこしなどの体験を通じて、豊かな創造力を



旅ごころ 2

子どもと楽しむ 発見の旅

養うことができそう。遥か昔へと心を遊ばせたあとは、大自然に囲まれた岩手県立児童館いわて子どもの森へ。屋外も館内も楽しく過ごせる遊具や施設がいっぱい。大人も夢中になれる空間でのびやかに過ごしたい。

2日目は、「？」と「！」に出会う場所へ。実験や工作を通じて科学を学ぶ田中館愛橋記念科学館とトリックアートを展示する福田繁雄デザイン館だ。科学館には、予約なしでできるスーパーボールや万華鏡作りなど、魅力的な体験メニューが用意されている。デザイン館では、視覚の不思議を体験できるだろう。

仕上げは、「四季の里」でランチ。古民家風の空間で空腹を満たすうちに、ふと懐かしい、ふるさとに帰ったときのように、ほっこりとした気持ちになることだろう。食後のデザートやおみやげには、隣接する「2door」で色々な種類の南部せんべいを見つけてみよう。真剣に遊び、二戸を発見する旅。たくさん

おすすめコース

車に乗ってGO！





二戸の雑穀・ヒエ畑。島状にして干すので、ヒエ島と呼ばれる。

未来につながる雑穀文化
二戸は冷涼な気候から、米よりもそばや雑穀を作ってきた。米がとれないことはマイナスに思われてきたが、逆に現代では雑穀が健康食として、注目的となっている。二戸では長い歴史に培われた豊かな食文化が残っている。県でその伝承の技を認められたお

じっちゃんばっちゃん文化を伝承する
人間の営みは地球の歴史からするとかなり短い。小さな工夫をコツコツと続けてきた結果が現代である。伝えたい思いが、文字を生み出し、あらゆるメディアを生み出したといえるだろう。二戸でも、生きていくための農業や、漆掻きや塗りの技術、どぶろくや、郷土料理、まつりや、郷土芸能、昔ばなしまで、受け継がれてきた。ぜひ、濃厚な県北文化を味わってほしい。

じっちゃんは「おっほ」だ
清酒は裕福な人のものであったから、庶民はもっぱら自慢の「おっほ」を飲んだ。「おっほ」とはどぶろくのことである。禁止されていた酒を、夜こっそり扱うので、夜の鳥ふくろうの別称が、隠語となったようだ。それこそ家庭それぞれの味があった。
二戸は、ど



白いどぶろくは浄法寺塗によく似合う。



寒さを使った保存食。



にのへ大人養成講座

じっちゃんばっちゃん の時間



そばは打ち立てがいい。

じっちゃんばっちゃんがいる家が
めずらしくなっているという。
じっちゃんばっちゃんは、知恵のかたまり。
山で川で畑で採れたものを生かしながら、
暮らしを豊かにする魔法をもっている。





Soul food

ばっちゃんの味



●ひつつみ

にのへはもちろん、岩手の郷土料理。多くは鶏出汁を使う。二戸の鶏はうまいので、ひつつみも自然にうまくなる。出汁にサバ缶を使う家もある。



●そばかけ・麦かけ

細く切る前のそばの生地を三角に切って、茹でて、にんにくみそで食べる。素朴ながら、アツアツを食べると、じんわり元気が湧いてくる。スーパーなどでメーカー品も販売している。



●柳ばっと

そば粉をこねて柳の葉のような形に整えた汁物。しこしこした歯ごたえの優しい一品。作り手によって、堅さや味が変わる。



●手打ちそば

家で打つそばはごちそう。そば打ちがうまいのが、いい嫁の条件でもあったとか。



●へっちょこだんご

雑穀のたかきびでつくるだんご。鍋に入れると、浮いてくるので、うきうきだんごの別名もある。冷凍したものを販売している産直もある。



●きやばもち

いうなれば、柏の葉でまいた和風スコーン？。素朴な味味が、贈むごとにじんわり口のなかに広がる。



●きんかもち

くるみ味噌をたっぷり入れた、小麦でつくる「もち」。ひとくちかじると、とろっとこぼれるのでご注意ください。



●くしもち

そばや小麦でつくるもちに、じゅうね(えごま)みそや、くるみみそを塗って焼いたもち。



●てんぼ焼き

もちりした歯ごたえで、ほんのり甘い、シンプルなてんぼ。アツアツがやはりうまい。



オノオレカンパの五角箸作り

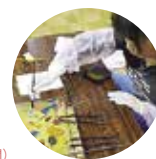
温かな色の木肌が美しいオノオレカンパをつかって五角箸を手作り。



- ◎人数／1名から(2週間前まで要予約)
- ◎時間／10:00～17:00(30分)
- ◎プラム工芸 TEL.0195-23-4883
- ◎完成品は塗装の後、約10日後にご返送(送料別途) ※当日のお持ち帰りはできません。

浄法寺塗の絵付け体験

二戸産の貴重な国産うるしの浄法寺塗に絵付け。自分だけの漆器がつけれます。



- ◎人数／最大15名まで(2週間前まで要予約)
- ◎体験可能時間／8:30～17:00(1時間)
- ◎滴生舎 TEL.0195-38-2511
- ◎完成品は後日郵送(送料別途)漆にかぶれる恐れがあるため手袋着用で体験を行います。

暮らしの手仕事草履を編む

金田一で暮らすてんどよし(器用な人)たちが、手取り足取り布草履の編み方を教えます。



- ◎人数／3名から(応相談)(2週間前まで要予約)
- ◎体験可能時間／10:00～15:00(4時間)
- ◎二戸市役所 金田一コミュニティセンター(アツマランカ) 二戸市観光協会 TEL.0195-23-3641
- ◎資料・材料費・講師料・金田一のごはんセット(お汁とご飯と漬物)付き。

米田カヨさんの、二戸の郷土料理とおそばガタリ

二戸の伝統食を、岩手県認定「食の匠」米田カヨさんに教わります。体験メニュー(十割そば・やなぎばっと・そばかけ・へっちょこ団子)



- ◎人数／1名から(3日前まで要予約)
- ◎時間／11:00～17:00(1時間半)
- ◎米田工房そばえ庵 TEL.0195-23-8411

金田一の語り部おなごぎつね語り

民話の里、金田一。「おなご狐」の世界へ語り部さんがご案内します。



- ◎人数／2名より要相談(2週間前まで要予約)
- ◎所要時間／20分
- ◎二戸市役所 金田一コミュニティセンター(アツマランカ) 二戸市観光協会 TEL.0195-23-3641

産直で買える郷土食

ぶろく特区。天台の湯が、米と雑穀の2種類のどぶろくを生産して提供している。それぞれに味わいが違うので、好みに合わせて飲まれたし。もちろん酒器はぜひ浄法寺塗で。赤や黒の器に、白い酒がおさまると、インスタ映える。

供されていない。地元の味を楽しむ強い味方は産直である。しっかりとした野菜や果物だけではなく、郷土の味を売ってくれる。たとえば、じゅうねの串もち。ほんのり苦みも楽しめる。じゅうねとはシソ科の植物エゴマのこと。それこそ健康食材で注目されているアイテムだ。小ぶりなみそもちもある。素朴で香りがいい「きやばもち」もある。「もち」といつても小麦で作られているのがこ

の地方ならではの。他にもきつとこの地でしか出会えない、郷土の味が多彩に揃っている。じつちやとばっちゃんの技あり体験

るので、新しい食文化を、ご家庭のメニューにいれてみてはいかがだろうか。どうりや、箸づくりなど気になる手仕事の体験もある。民話もマスターすれば怖い物なし。興味がある方はぜひ試してみよう。季節毎に趣向をこらした体験プログラムもあるので、HP等是要チェック。極めれば、いつかは立派な二戸のじつちやばっちゃんになれるかも!!

NINOHE

Festival / Event

Guide

世代から世代へ、脈々と受け継がれる伝統、
もっと楽しみをつくろうと新たにはじめるイベント。
にのへで触れる、祈り、感謝、そして賑わい。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月
下旬〜2月下旬 稲庭冬のイルミネーション (天台の湯周辺)	第2日曜日 金田一温泉観光りんご園収穫祭 (金田一温泉センター駐車場)	第1日曜日 天台寺秋の例大祭(天台寺境内) 中旬土・日曜日 トリコロールフェスタ in なにやーと	金・土・日曜日 浄法寺まつり(浄法寺地区) 下旬 九戸城まつり	第1金・土・日曜日 二戸まつり(福岡地区) 第2土・日曜日 武内神社例大祭(堀野地区) 第3土・日曜日 枋ノ木神社金勢様まつり(石切所地区)	16日 福田人形まつり(高清水稲荷神社)	中旬 折爪岳ヒメボタル観賞好適期(折爪岳山頂付近) 下旬 金田一温泉まつり(金田一温泉センター駐車場)	5日 天台寺春の例大祭(天台寺境内) 4日 薬師堂祭り(薬師堂) 1日 折爪岳施設オープン	中旬 稲庭スノーフェスタ(天台の湯周辺) 下旬〜5月上旬 桜観賞好適期(市内各所)	中旬 稲庭スノーフェスタ(天台の湯周辺)	2月中旬 足沢の小正月 (足沢地区生活改善センター) (旧暦の1月6日/似鳥八幡神社)	初旬 裸参り(吞香稲荷神社) 上旬 サイトギ



天台寺例大祭
桜咲くなか古刹天台寺で行われる例大祭。雅楽や神楽も披露される。



二戸まつり
吞香稲荷神社、愛宕神社、秋葉神社の三社の大祭。六角神輿を先頭に山車が、街を練り歩きます。



浄法寺まつり(神明社例大祭)
浄法寺地区神明社の大祭。山車のほか、稚児行列や郷土芸能のセツ物、鹿踊り、奉納相撲も行われます。



サイトギ
その年の作柄を占う国選択無形民俗文化財の伝統行事。旧暦の1月6日に似鳥八幡神社で行われる。

二戸の四季を彩る、
風土が育んだ土地の祭り。





北いわてのはちみつ

さくら、りんご、あかしあ、そば、とち、くり...など、いろいろな花から採取されたはちみつは、香りも色も花がもつ、自然のままの味わい。浄法寺漆の産地ならではの、うるしの蜂蜜も評判です。

地酒・南部美人

世界一になった二戸の地酒。特別純米酒は、南部美人の定番なお酒で二戸市産の特別栽培米「ぎんおとめ」を主原料としています。上品な米の旨みですっきりとした後味です。甘味料を一切使わないで仕込んだ「南部美人梅酒」は、糖類無添加のリキュールです。すっきりと軽快で大人な味わいは、幅広い料理と合わせることができます。



南部せんべい

ベーシックなゴマや落花生のほかに、おつまみになる軽いスナック風のもの、クッキータイプのもの、さらには南部せんべいを砕いてチョコレートと合わせたものなど、多種多様に進化しています。



チョコ南部

日光ばん

最初に作ったお店「日光屋」が名前のルーツ。あんこたっぷりの饅頭に、砂糖をまぶした明治生まれのお菓子。



おみやげ型録

なにやーと物産センターで見つけた、二戸のいいものちょっとおみやげ。



どぶろく

どぶろくは浄法寺地区でつくられています。米のどぶろくのほかに、雑穀のどぶろくもあります。



浄法寺ワイン「寂」

浄法寺産100%の山葡萄のワイン。ネーミングとラベルは瀬戸内寂庵師によるもの。



肉に合うソース

牛肉に合うブルーベリー、鶏肉に合うトマト、豚肉に合うりんご。いつものお肉が二戸産の果実を使ったフルーツソースで新しい味わいに。



金田一のう米

岩手県エコファーマー認定を受けた金田一営農組合が、鶏糞を発酵させた無化学肥料・低農薬にこだわって栽培している「いわてっこ」と「きらほ」。

大西ファームの瓶詰め

パスタソースなどにも使える、バジルやトマトなど自家製の食材をオリーブオイルやはちみつに漬けた瓶詰め。



雑穀

きび、ひえ、あわ、アマランスなど、雑穀の歴史をもつ二戸の伝統食です。ごはんに入れたり、揚げ物の衣にしたり、煮ておひたしにかけたり、健康のために食べてみましょう。



食肉加工品

岩手短角牛や佐助豚、二戸地鶏や若鶏など、二戸は牛豚鶏のおいしい3大ミートが揃う産地。食べやすい加工品が、おみやげにぴったりです。



片口、こぶくろ(酒杯)、汁碗など、美しい形が並ぶ。



浄法寺漆器

二戸市は国産漆の約7割を生産する「日本一の漆の産地」です。二戸産を中心として作られた漆器は口当たりがやさしく、使い続けていくうちにツヤが増し、手に馴染んでいくところが魅力です。



オノオレカンパのウッドクラフト

オノオレカンパの木を使ったキメの細かい木工品。シンプルでしっかりしたつくりファンが多くいます。

ブランドフルーツ承ります



カシオペアブルー



冬恋



夏恋

二戸はブランド果物の産地です。大粒で肉厚なさくらんぼ「夏恋」。糖度が高く、蜜がたくさん詰まったりんご「冬恋」。ブルーベリーの「カシオペアブルー」は、直径24mm以上の大玉で、約500円玉程の大きさになります。これらのブランド果物は二戸広域観光物産センターなにやーとで注文できます。



なにやーと物産センター

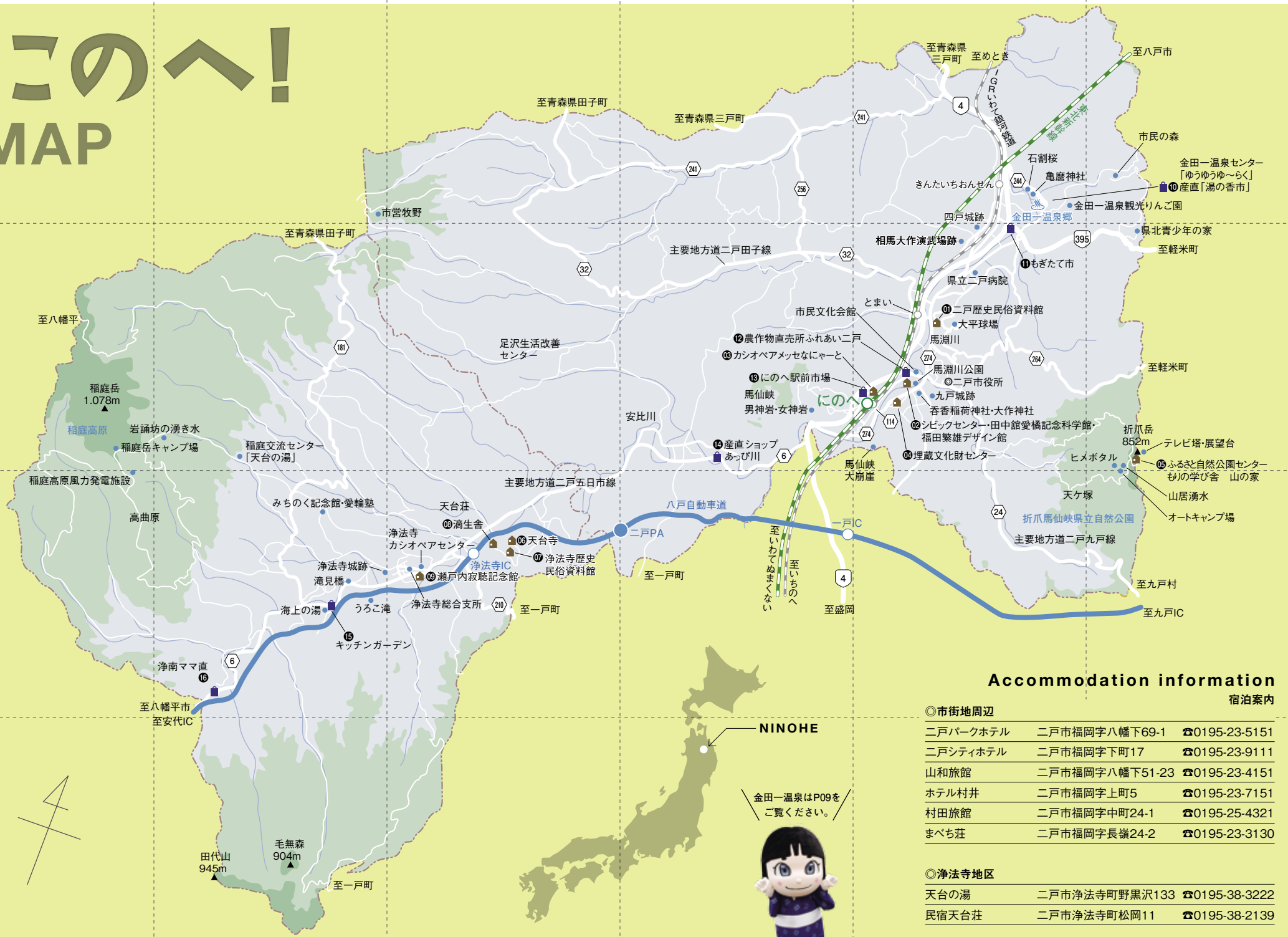
〒二戸市石切所字森合 68

AM8:30 ~ PM7:00

TEL 0195-22-4395

JR・IGR二戸駅に隣接する、二戸広域観光物産センター「カシオペアメッセ・なにやーと」。「なにやーと物産センター」はその一階にある、おみやげスポットです。二戸を中心に、青森・秋田・岩手の24市町村の地域色豊かな特産品が揃っています。

このへ！ MAP



Accommodation information

宿泊案内

◎市街地周辺

二戸パークホテル	二戸市福岡字八幡下69-1	☎0195-23-5151
二戸シティホテル	二戸市福岡字下町17	☎0195-23-9111
山和旅館	二戸市福岡字八幡下51-23	☎0195-23-4151
ホテル村井	二戸市福岡字上町5	☎0195-23-7151
村田旅館	二戸市福岡字中町24-1	☎0195-25-4321
まべち荘	二戸市福岡字長嶺24-2	☎0195-23-3130

◎浄法寺地区

天台の湯	二戸市浄法寺町野黒沢133	☎0195-38-3222
民宿天台荘	二戸市浄法寺町松岡11	☎0195-38-2139



■ 観光施設

施設名	住所・電話番号・HP
01 二戸市立二戸歴史民俗資料館	福岡字長嶺80-1 0195-23-9120
02 二戸市シビックセンター 田中館変機記念科学館・福田繁雄デザイン館	石切所字荷渡6-2 0195-25-5411 http://www.civic.ninohe.iwate.jp
03 二戸広域観光物産センター カシオペアメッセにやーと	石切所字森合68 0195-23-7210 http://www12.ocn.ne.jp/~nanyato/
04 二戸市埋蔵文化財センター (総合福祉センター内)	福岡字八幡下11-1 0195-23-8020
05 ふるさと自然公園センター・ もりの学び舎	福岡字織詰地内 0195-23-7599
06 天台寺	浄法寺町御山久保33-1 0195-38-2500
07 二戸市立 浄法寺歴史民俗資料館	浄法寺町御山久保35 0195-38-3464
08 浄法寺漆芸の殿堂 滴生舎	二戸市浄法寺町 御山中前田23-6 0195-38-2511
09 瀬戸内寂聴記念館 (浄法寺総合支所内)	浄法寺町下前田37-4 0195-38-2211

■ 産直施設

施設名	営業時間	住所・電話番号
10 産直「湯の香市」 (金田一温泉センター内)	10:00~22:00 ※毎月第3月曜日休業	金田一字湯田41 0195-27-2631
11 もぎたて市	12:00~18:00	金田一字ハツ長275 0195-27-2431
12 農産物直売所 ふれあい二戸	10:00~18:00	石切所字荷渡22-28 0195-23-0288
13 にのへ駅前市場	9:00~18:00	石切所字森合28-9 0195-26-9800
14 産直ショップ あつぱ川	9:00~18:00	似鳥字前田100 090-4476-2388
15 キッチンガーデン	8:30~18:00 ※11~4月は17:30まで	浄法寺町海上前田6-13 0195-38-4936
16 浄南ママ直	8:30~17:00 ※1~3月は土日のみ営業	浄法寺町下藤192-7 0195-38-4454



ナニガアタルカ、
オタノシミ



二戸の魅力があたる！

ようこそのにのへ！キャンペーン

ガイドブックをご覧くださりありがとうございました。
 にのへの旅はいかがでしたでしょうか。
 にのへが好きなみなさまに、抽選でのにのへギフトをプレゼント。
 簡単なアンケートに答えて、お申し込みください。
裏表紙のキーナンバーが必要となります。
 お手元にご用意のうえアクセス！

詳細・申込は観光協会ホームページ内
 「ようこそのにのへ！キャンペーン 特設サイト」を
 ご利用ください。

問合せ | 二戸市観光協会

〒028-6103
 岩手県二戸市石切所字森合 68 番地
 二戸広域観光物産センター 3F
 TEL.0195-23-3641
 FAX.0195-23-2343



Access to NINOHE

交通案内

◎列車

JR二戸駅	☎0195-23-2041
IGR二戸駅	☎0195-23-8670
IGR金田一温泉駅	☎0195-27-2288

◎タクシー

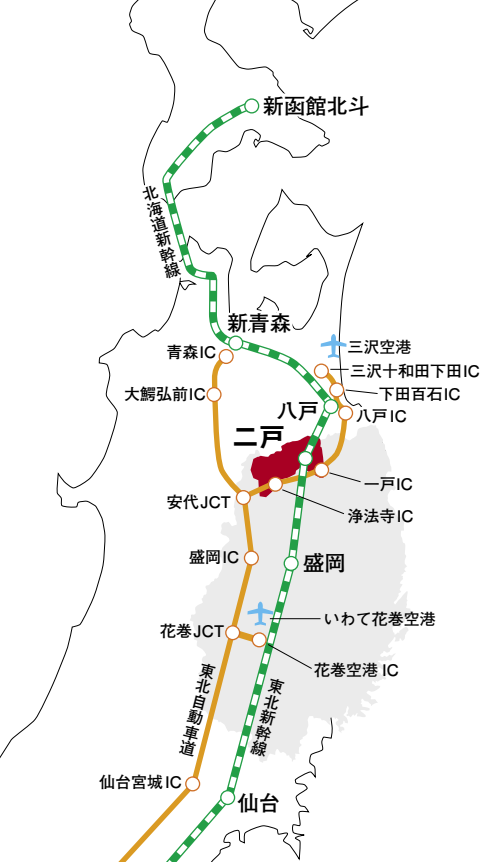
㈱玉川観光タクシー(本社)	☎0195-23-2121
㈱玉川観光タクシー(金田一)	☎0195-27-2121
福岡タクシー(株)	☎0195-23-3161
カシオペアタクシー	☎0195-22-5505
浄法寺タクシー(有)	☎0195-38-2233

◎レンタカー

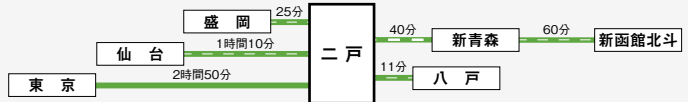
㈱トヨタレンタリース岩手 二戸駅新幹線口店	☎0195-23-0100
ニッポンレンタカー 東北(株) 二戸駅西口営業所	☎0195-23-0919
ラビットレンタカー(有)	☎0195-38-3335
タイムズカー・レンタル二戸店	☎0195-23-8118
(有)カーネットワーク(100円レンタカー二戸店)	☎0195-23-0474

◎バス

JRバス東北(株)二戸営業所	☎0195-23-5229
岩手県北バス(株)一戸営業所	☎0195-33-2231



東北新幹線を
ご利用の場合



高速道路を
ご利用の場合



飛行機→高速道路を
ご利用の場合



二戸市観光協会 〒028-6103 岩手県二戸市石切所字森合68
TEL.0195-23-3641 FAX.0195-23-2343 <http://ninohe-kanko.com>
二戸市商工観光流通課 〒028-6103 岩手県二戸市石切所字荷渡6-3 二戸地区合同庁舎5階
TEL.0195-43-3213 FAX.0195-23-1634

